

# 彦春町茜

文想感書誌  
論本體

为4回

読書感想文

『国体論』

第4回

著者：茜町春彦

概要：白井聡著『国体論（集英社新書）』を少しずつ読み進めながら、感想文を投稿しています。  
この記事は第4回となります。

読者対象：戦前戦後の国家体制に関心のある人

ちょっと引用します。

(P 44) . . . ソヴィエト連邦という日米にとっての共通の敵がある限り、アメリカはアジアにおける最重要の同盟者である日本を庇護する具体的な理由があり、したがって日本が対米従属を国家方針の基本とすることにもそれなりの合理性があった。この構造に守られて、日本は対米従属状態にありながら、経済の面ではアメリカにとって脅威となるまでに強大化した。だが、ソ連を首領とする社会主義圏の崩壊は、事情を一変させた。この変化によって、アメリカが日本を庇護しなければならない動機は、基本的に消滅した . . . 要するに、アメリカの対日姿勢の基礎が「庇護」から「収奪」へと転換したということである . . .

引用を終わります。

それにも拘らず、現政権は国民の意志を無視した行動を平気でとります。まったくのアメリカの言い成りです。基地のことも再稼働のことも国民のことなど考えていないのでしょう。それでも、かなりの数の国民がそんな政権与党を未だに支持しています。

不思議です。なぜですかねえ . . .

(次回へ続く)

## 後書き

---

参考文献：

次の文献を参考にしました。

- 国体論：2018年4月22日第1刷発行 白井聡著 集英社新書

C G画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 3 Studio Pro アンビエント社
- Photoshop Elements 10 アドビシステムズ株式会社

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行なっております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

- YouTube （動画共有サイト）
- Google+ （ソーシャルネットワークサービス）
- 楽天Kobo電子書籍ストア （ネットショッピングサイト）
- はてなブログ （WEBLOGサービス）
- Facebook ページ （ソーシャルネットワークサービス）
- Pixiv （イラスト投稿サイト）
- カクヨム （小説投稿サイト）
- BOOTH （物販サイト）

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2018年5月21日発行

読書感想文『国体論』第4回

<http://p.booklog.jp/book/122134>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/122134>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト